

## 「トランス脂肪酸等に関する情報開示について」

ソントンホールディングス(株)  
食品安全管理本部

本来「脂肪酸」とは、食品の三大栄養素である「脂質」を構成する成分のひとつで、人にとって重要なエネルギー源です。また「トランス脂肪酸」は加工油脂だけでなく、牛などの動物の胃の中でも作られ、牛乳にも含まれています。

このトランス脂肪酸を摂取しすぎると生活習慣病を引き起こす恐れがあるといわれていますが、現在の標準的な日本人の食生活ではトランス脂肪酸の摂取量は少なく、内閣府食品安全委員会の評価でも、日本人の大多数が WHO の勧告（目標）基準であるエネルギー比の 1%未満であり、また健康への影響を評価できるレベルを下回っていることから健康への影響は小さいと考えられています。

しかし、長い間トランス脂肪酸、飽和脂肪酸などを含めた脂質を日常生活で多く摂りすぎると心臓疾患や脳卒中などの生活習慣病を疾患発症する可能性は高くなります。

トランス脂肪酸に限らず脂肪の多い食品を食べ過ぎるといった偏った食生活をせず、さまざまな食品をバランスよく摂ることが生活習慣病の予防には重要です。

脂肪の多い食品を過度に摂り、生活習慣病が社会問題となっているアメリカでは、脂肪、特にトランス脂肪酸の摂取と心臓疾患や脳卒中などの疾患との関連性が指摘されており、2018年には、脂肪全体の摂取の制限ではなくトランス脂肪酸を含む部分水素添加の加工油脂の使用のみを大幅に制限する規制が開始されました。

弊社では数年前よりトランス脂肪酸の低減化に取り組んでおり、例えば「パンにぬるホイップクリーム」等の商品においては原料油脂に含まれる部分水素添加油脂の使用を取りやめたことでトランス脂肪酸の低減化が図られています。

また、お客様に安心して弊社商品をご愛顧いただき、バランスのよい食生活をおくっていただくために、弊社商品の「一食当たり」もしくは「〇〇g当たり」の、栄養成分、飽和脂肪酸、トランス脂肪酸およびコレステロールの情報をホームページで開示しております。

飽和脂肪酸、トランス脂肪酸およびコレステロールの掲載値は、原材料メーカーの情報により算出したもの、あるいは食品衛生法に基づく登録機関の分析によるものです。

（トランス脂肪酸の分析は AOAC 996.06 によります。）

私たちソントングループは今後もおいしさを維持しながらトランス脂肪酸の低減化を進めると共に、安全な商品をお届けし、安心してお客様に食していただけるよう科学的根拠に基づいた適切な情報を提供してまいります。

尚「トランス脂肪酸」の詳細、摂取量、情報の開示等につきましては

農林水産省のホームページ

[http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/trans\\_fat/t\\_wakaru/index.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/trans_fat/t_wakaru/index.html)

内閣府食品安全委員会のホームページ

<http://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20120308001>

<http://www.fsc.go.jp/sonota/factsheets/54kai-factsheets-trans.pdf>

をご参照ください。